



大阪市立大学「地域連携センター年報 2018」発行にあたって

平素より本学の地域連携センター事業にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

地域連携センターは、教育・研究と並び、大学の重要な使命である地域貢献を総合的かつ組織的に遂行するために2013年2月に開設されました。

この間、大学の窓口の一元化として広く地域からの相談を受け付けるとともに、本学の設置団体である大阪市との基本協定（2017年2月）をはじめとして、近隣の区や自治体・団体等と連携協定を締結するなど、さまざまな地域との連携に取り組んでまいりました。その内容は、受託研究・受託事業として実施するもの、地域志向教育と連携して行うもの、他大学との連携事業など、多様な形でアウトプットしており、本学としても地域との連携による一層の可能性を思索しています。

さて、本年報では地域連携センターの概要についてご紹介するほか、2018年度の活動記録として、年間実績の掲載、および部会活動で行っている(1) 地域貢献（博学連携事業を含む）、(2) 公開講座、(3) 小中高大連携、の3つの柱ごとの取り組みをまとめています。

今後も本学および地域社会の発展に寄与するべく、本年報が、地域と大学のさらなる連携のきっかけとして活用いただけるものとなることを願っています。

2019（令和元）年7月

地域連携センター所長 宮野道雄
（学長補佐（地域貢献担当））